

あさかわ い もの 浅川の生き物



みなみあさかわ きたあさかわ ごうりゅうちてん きよかわちようふん
▲南浅川と北浅川の合流地点(清川町付近)

はちおうじしないなが わたし なじ がか あさかわ たまがわ しりゅう おお かわ なが こ ちい
八王子市内を流れ、私たちに馴染み深い浅川は多摩川の支流(大きな川に流れ込む、小さ
な川)の一つです。陣馬山や高尾山を水源(川の水などが流れ出てくるもと)とし、はちおうじし
か わ ひと じんぼさん たかおさん すいげん かわ みず なが で はちおうじし
中心部を流れて日野市内で多摩川に合流(二つ以上の川がいっしょになってひとつの流れに
ちゅうしんぶ なが ひのしないなが たまがわ ごうりゅう ふた いじょう かわ なが
なること)しています。市内には浅川の支流がいくつもあります。湯殿川、やまだがわ かわくちがわ
しないなが あさかわ しりゅう ゆどのがわ やまだがわ かわくちがわ
南浅川、城山川などはみな、浅川の支流です。

あさかわ えんちよう いっぽん なが しりゅう あ そうえんちよう
浅川は延長(一本につなげたときの長さ)36.5km、支流も合わせた総延長は120.3
kmにもなります。しぜんゆた まちなか なが あさかわ
自然豊かなところや街中など、さまざまなところを流れる浅川にはどのよ
うな生き物がいるのでしょうか？ さっそく探検(たんけん)してみましょう。

あさかわ く やちよう 浅川に来る野鳥

浅川にはどのくらいの種類の野鳥がいますか？なんと、100種類以上の野鳥がいます。では、浅川にいる主な野鳥たちを見てみましょう。

カワセミは、スズメくらいの大きさの緑色の羽が美しい鳥で、大きくちばしで魚をつかまえて食べます。浅川本流では特に松枝橋より上流に多くいます。一年中見られます。

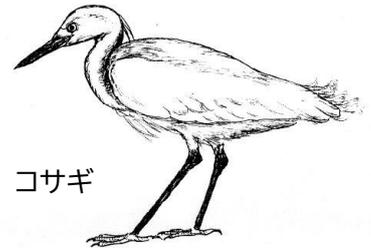
カワセミ



ヒドリガモ

カルガモでお馴染みのカモの仲間には、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモの4種類がよく見られ、他にもマガモなどがいます。コガモやオナガガモは支流も含めて冬の浅川のどこでも比較的よく見られます。カルガモは一年中見られます。

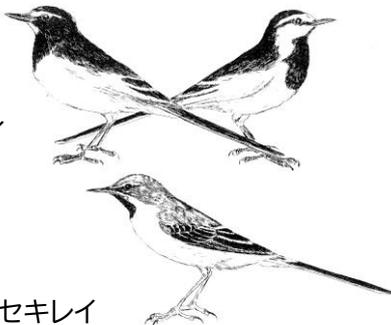
サギの仲間ではコサギが一番よく見られます。サギはツルに似た、くちばし、首、足が長い鳥です。他にもダイサギやゴイサギ、アオサギなどが浅川の中流から下流にかけています。



コサギ

ハクセキレイ

セグロセキレイ



キセキレイ

セキレイの仲間には水辺に住む小鳥で、長い尾を上下に動かします。浅川ではキセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリの4種類がいます。浅川のどこにでもいますが、夏になるとタヒバリは姿を消し、ハクセキレイも数が少なくなります。

ハシボソガラス

カラスには、ハシブトガラスとハシボソガラスの2種類がいます。両方とも浅川ではどこにでもいますが、ハシボソガラスは畑や田んぼなどの自然が多いところ、ハシブトガラスは人がたくさん住み、ゴミなどのあるところや山の中と、生活する場所がそれぞれ違います。



ハシブトガラス

りゅうちよう わた どり 留鳥・渡り鳥

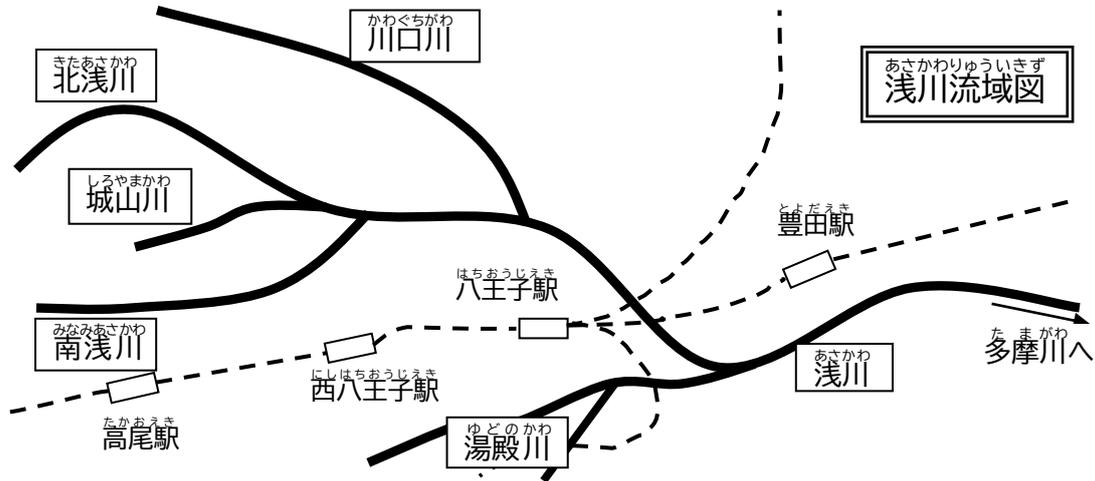
野鳥は、同じ地域で一年中生活している留鳥と、季節によってすみ場所を変える渡り鳥に分けられます。渡り鳥には、夏に渡ってくる夏鳥、冬に渡ってくる冬鳥、春と秋の渡りの途中に立ち寄る旅鳥があります。

浅川の魚

次に魚たちを探してみましょう。

浅川の本流や、支流の南浅川・川口川を見つみると、上流には水のきれいなところにすむカジカやヤマメのほか、アユ、ウグイなどがいます。川口川には東京都では少なくなっているスナヤツメもいます。上流から中流に下ってくると、アブラハヤやオイカワなど姿をあらわします。南浅川ではホトケドジョウやシマドジョウなどもいます。中流から下流にかけては川の水も汚れていて、汚れた水にも耐えられる魚たちがいます。浅川本流にはコイやフナの仲間、川口川にはモツゴ、コイ、キンブナやギンブナがよくいます。

魚たちにとって住みよい環境は…
魚たちは蛇行(曲がっていること)している川が好きです。曲がっていると流れる方で川の底が掘られ、深いところや浅いところが出来て、自然に遊んだり休んだりする場所ができます。また川と土が仲良くなっているところも魚たちは好きです。川と石や土がじかに接しているところでは、草に魚たちの卵がくっついたり、かげに隠れたり、えさを食べたりすることもあります。大雨などで川の水が増えたときには流されないように草の間に入って身を守ります。



浅川の昆虫

では、昆虫はどんなものがあるでしょう。

チョウの仲間やガの仲間、トンボの仲間、などいろいろな虫たちがいます。春になると、オスは黄色くメスは白いモンキチョウや、シジミチョウ、セセリチョウの仲間たち、夏にはアゲハチョウやガの仲間、ハグロトンボをはじめとするトンボの仲間たちに会えます。また、昼間飛ぶガの仲間、キハダカノコとヤホシホソマダラという珍しいガの一種も、浅川で見られたことがあります。

秋になると、昆虫たちの合唱が聞こえてきます。コオロギやキリギリスの仲間たち、スズムシやカンタンがきれいな鳴き声で私たちを楽しませてくれます。他にもアカトンボの仲間たちが姿を見せてくれます。寒い冬にも活動しているのが、フユシャクガというシャクガの仲間です。数年前にはフチグロトゲエダシャクという珍しい種類が浅川で見つかったこともあります。一年を通して、いろいろな虫たちが浅川にはいます。

しら 調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。市内のどの図書館に所蔵しているかは館内OPACで検索、または職員へおたずねください。

※☆印のついているものは、特に小学生におすすめのものです。

☆『みんなの浅川』 浅川生きもの研究会／編 2000年

浅川の植物、野鳥、昆虫、魚などの自然についてわかりやすくまとめてある。

『野鳥と出会う身近な探鳥コース』 八王子カワセミ会／編 1999年

浅川流域や市内のおもな公園など、場所ごとにかんたんな説明と地図がのっている。

『数えあげた浅川の野鳥』 八王子カワセミ会／編 1996年

浅川流域の野鳥の観察結果が細かくまとめられている。

『数え上げた浅川流域の野鳥2』 八王子・白野カワセミ会／編 2006年

20年間の観察の記録をまとめたもの。カラー写真や表、グラフなどでわかりやすい。

『かわせみ』 八王子・白野カワセミ会 定期刊行物

浅川周辺の野鳥を観察する市民グループの機関誌で、様々な調査結果がのっている。

☆『八王子の川と友だちになるノート』 八王子市環境部環境保全課／編

八王子の川にすむ魚について絵入りで説明されている。

『平成9年度 中小河川環境実態調査報告書 浅川編』

東京都環境保全部水質保全部水質監視課／編 1999年

浅川の水質や生き物、川の環境について細かく調査報告している。

☆『浅川わくわくマップ』 八王子青年会議所／編 1991年

浅川全体の地図で橋の名前などもあり、見てわかりやすい。

●インターネット情報（最終確認日2022年8月17日）

「八王子・白野カワセミ会」 <http://kawasemi.main.jp/>

編集・発行

八王子市中央図書館

平成23年(2011年)6月

令和4年(2022年)8月 改訂